



東急車輛製造株式会社 殿

第 号  
平成 年 月 日

試作  
改造 概要 説明書

改造自動車等審査結果通知書

指示事項:

主要諸元比較表 (改造、試作、組立)

届出者の氏名又は名称		東急車輛製造株式会社			種別用途		普通 貨物	
項目	標準車	改造車	基準	項目	標準車	改造車	基準	
車両重量 kg		12750	—	車名		東急	—	
乗車定員人		—	—	型式		TD301-97	—	
最大積載量 kg		27500	—	形状		セミトレーラ	—	
車両総重量 kg		40250	≦ 20 t	原動機の型式		—	—	
			( )	総排気量 l		—	—	
長さ m		11.990	≦ 12	燃料の種類		第5輪から	—	
幅 m		2.990	≦ 2.5	軸距 m		9350 + 1300 = 10650	—	
高さ m		1.680	≦ 3.8	最小回転半径 m		* 12.0	≦ 12	
室内又は荷台の内側の寸法 m	長さ	6.100	—	オーバーハング		—	≦ ④・村・子L (5.325)	
	幅	2.990	—	ホデー後端まで		0.890	—	
	高さ	—	—	荷台オフセット		4.500	—	
空車時		4.590	—	タイヤ		—	—	
荷重分布 kg	前	—	—	サイズ		11.00-20-14PR	—	
	後	4080	—			11.00-20-14PR	—	
積車時	前	16965	≦ 10 t	積車時		—	—	
	後	—	( )	タイヤ		—	—	
荷重分布 kg	前	11645	≦ 10 t	荷重割合 %		99.2	≦ 100	
	後	11640	( )			99.1	—	
積載時前輪荷重割合 %		—	≧ 18	最大安定		*	—	
傾斜角度 °	左	—	≧ 20			53	一般 ≧ 35 (30)	
	右	—	—			53	—	
制動能力	踏力 - kg	35	—	車わく強度		$\frac{5000}{3200} \times \frac{807.23}{2.9} > 1.6$	—	
	空気圧 7 kg/cm <sup>2</sup>	—	—	車軸強度		東急 TL 2555 型 トレーラ と同一	—	
推進軸強度	回転数 Nc/N=	/	=	操縦装置		—	—	
	強度 Os/T=	/	=	懸架装置		東急 TL 2555 型 トレーラ と同一	—	
能力強度等検討				制動装置		東急 TL 2555 型 トレーラ と同一	—	
				連結装置		東急 TL 2555 型 トレーラ と同一	—	

注1. 主要諸元比較表右欄( )内の改造、試作、組立は該当するものを○で囲むこと。  
 注2. 能力強度等検討欄に必要なしなものは一、省略したものは×を記入すること。

注. ※印はW-CW620GNT型トラクターと連結時の計算値を示す。

目的	当該車両は分割不可能な重量物の安全輸送を計る為新たに製作したものである。
車体	
軸距	重量配分の適正化を計るために第5輪から 9350 + 1300 = 10650mm とした。
輪距	1940mm とした。
原動機	
動力伝達装置	
走行装置	東急 TL 2555 型セミトレーラ (55 自車第 743 号新型自動車 第10999 号) と同一のものを使用している。
操縦装置	
制動装置	東急 TL 2555 型セミトレーラ (55 自車第 743 号新型自動車 第10999 号) と同一のものを使用している。トラクタとトレーラが分離した時制動にかかる非常中継弁を取付けている。ブレーキ配管内の水及びゴミの蓄積防止の為エアフィルターを設ける。
懸架装置	東急 TL 2555 型セミトレーラ (55 自車第 743 号新型自動車 第10999 号) と同一のものを使用している。ウオーキングビームにより前後に揺動する。
連結装置	東急 TL 2555 型セミトレーラ (55 自車第 743 号新型自動車 第10999 号) と同一のものを使用している。J I S - D - 6602 に準じて製作してある。
車わく	全体の構造は梯子型で、主レールとアウトリガー及びクロスメンバーとは電気溶接で組まれており、前部の下面にキングピン、後部に車軸取付の装置を付けている。
その他	

(A列3番)